



平成30年9月4日
旭川市立愛宕小学校
学校だより 第5号

「長い2学期を元気にスタート」

校長 佐藤 浩 徳

本年は特に暑かった25日間の夏休みが終わり、8月20日（月）から2学期がスタートしました。

夏休みに入って直ぐの7月26日・27日に、たくましい学習者の育成と学力の定着をねらいに、学校はサマースクールを実施しました。参加した児童の頑張りや教職員・学生ボランティアの支援で、2日間とも全校児童の70%の参加状況の中、真剣にそして楽しく学習する姿が見られました。児童の参加に対しまして、ご協力いただきました保護者・家族の皆様、ありがとうございました。

さて、368名（転入生2名を含みます）の全校児童は、たくさん日焼けをした元気な姿で登校しました。玄関前において、休み中に取り組んだ作品などが入っている大きな袋を両手に持った子どもたちに向かって、いつものように「おはようございます。」と挨拶ができる自分をとても嬉しく感じました。

私は、始業式の中で次のような話をしました。2学期は、「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組み、元気な学校生活をしましょう。放課後や休日は、「絶対事故に遭わない。不審者に出会わない」ように、家庭や地域で生活しましょう。また、2学期は、「あたご盆踊り大会」「ミュージカル鑑賞」「修学旅行（6年）」「学習発表会」「地域公開参観日」「どんちやかまつり」など、たくさん行事や活動があります。2学期も本校の合言葉、「しっかり」と考え、「すっきり」と見通しを持ち、「はっきり」と伝える姿がたくさん見られるように、行事や活動、勉強や運動に頑張りましょう。

ぜひ、保護者・家族・地域の皆様も本校の合言葉を意識していただき、学校や家庭、地域において、子どもたちのよい姿（しっかり すっきり はっきり）が実践されるように、ご協力とご支援を引き続きお願いいたします。



修学旅行(6年生)～心に残る2日間～



8月28日と29日の2日間、札幌・小樽方面へ修学旅行に出かけました。修学旅行を心待ちにしていた子どもたちも多く、28日の出発式では、はりきった子どもたちの姿がありました。修学旅行の1日目は札幌です。まずは、北海道開拓の村の見学。子どもたちは、グループに分かれて施設内を回りました。古い建物や初めて見るような昔の道具もあり、興味をもって見学していました。今年は北海道150年という節目の年になり、子どもたちにとっても北海道の歴史を知るよい機会となりました。



(北海道開拓の村)



(1日目昼食 バイキング)



(札幌自主研修 地下鉄)

午後からは、自主研修です。円山動物園、大倉山、札幌防災センター、白い恋人パーク、北大（植物園・博物館）、雪印メグミルク工場などをグループごとにそれぞれが課題をもって研修を行いました。地下鉄など公共の交通機関を利用したり、徒歩で行き先へ向かったりするなど、各グループさまざまでしたが、事前に調べた地図を片手にグループで相談しながら目的地へ向かうなど、グループの友達と協力する姿が見られました。研修先では、普段できない体験もあり、有意義な時間を過ごすことができました。初日のもう一つの楽しみは、宿泊するホテル（ガトーキングダム）です。夕食のバイキングにプール、そして、部屋で友達とトランプをするなど、友達と一緒に楽しく過ごすことができました。



(小樽製作体験)



(小樽自主研修)



(おたる水族館)

2日目は、とんぼ玉やサンドブラストなどの製作体験からのスタートです。作り方の説明を受けて、各自が思い思いに作品を仕上げました。その後は、グループごとに自主研修を行い、運河周辺を散策したり、家族へのおみやげを買ったりするなど、あっという間に時間を過ごしました。修学旅行の最後は「おたる水族館」です。水族館の裏側を飼育員さんに案内していただき、普段見ることのできない場所や生物についての説明をしていただきました。また、ウニやヒトデ、ネコザメに直接触れるなど、貴重な体験もできました。

この2日間、学校生活ではできないことをたっぴりと体験したり、お互いのことを考えたり、自分の行動を見つめたりしながら協力し合って行動することができ、子どもたちにとってよい思い出となると共に、6年間を締めくくる大変貴重な機会となりました。

時間を意識して早めに行動することや自主性、行動力、そして優しさなど、これまで培ってきた力を十分に発揮した2日間になりました。保護者の皆様には、修学旅行の準備からお見送り、お迎えまでありがとうございました。

PTA 愛宕小盆踊り大会

8月23日(木)にPTA主催の「愛宕小盆踊り大会」が行われました。今年度から、体育館での実施となりましたが、児童・保護者・地域の皆さんにも多数お集まりいただいて開催することができました。開会式に続き、吹奏楽の演奏が行われました。素敵な演奏に、会場の児童・保護者・地域の皆さんも聴き入っていました。その後は、体育館に大きな輪をつくり、表現クラブの児童の元気いっぱいの太鼓に合わせて楽しく踊ることができました。地域の皆さんにも参加いただき、楽しいひと時を過ごしました。



交通安全ダミー実験会(3・4年生)

8月23日(木)に旭川市防災安全部交通防犯課の職員をお招きして、交通安全ダミー実験会を実施しました。実際に車を使い、運転者からは見えない『死角』があること、車は急に止まれないこと、特に雨の日や雪の道路では、止まるまでの距離が長くなってしまふこと、大型車などが左折するときに『巻き込み』の危険があることなどについて、車とダミー人形を使っての実験・説明がありました。飛び出したダミー人形が車に衝突する実験やダミー人形が大型車に巻き込まれる実験では、「もし本当の人だったら…」と、飛び出しの危険性や車道近くを歩いたり、車のそばに寄る危険性を改めて感じたりしていました。今後は、この学習を生かし、交通安全に気を付けて生活できるよう指導していきますが、外出する際には、ご家庭でも一声掛けていただけたらと思います。



☆ ほっかいどうチャレンジテスト ☆

「ほっかいどうチャレンジテスト」は、北海道の子どもの学力向上のために北海道教育委員会が作成したものです。各教科の専門家が全国学力・学習状況調査の結果を分析して作成されています。年に3回、北海道のほぼすべての小中学校で実施されており、本校でも、1学期末に全学年で実施しました。

実施に際しては、全学級で下記の点を共通で指導しました。

- 当たり前を当たり前にして … 組・番・名前はもれなく書く
- 丁寧に取り組もう … 粘り強く考える、きれいに書く、見直しをする
- 無回答率を減少させよう … 時間切れにならないかぎり何か書こうとする

日常行っている「単元テスト」とは違い、自分自身も持っている知識や技能を活用し、ある程度の思考力を駆使して取り組まなければならないため、20分程度で行うテストとはいえ、子どもたちにとっては少々難しいテストです。

上記のような共通指導事項を設定し始めたころは、名前を書かない子や、投げやりな取り組み方の子たちもいました。しかし、今回はほぼ全員が名前をしっかりと書いていましたし、時間の中で必死に考え取り組んでいる様子が見えました。また、「無回答数(テストにおける空欄の数)」の非常に少ない学級の担任に聞いたところ、日常的に指導がなされているということが分かり、日常の地道な指導の積み重ねが子どもたちを確かに育てるということを改めて職員全体で確認しました。

各学年の国語科と算数科の結果については、担当が分析し、課題が見られたポイントをまとめ学校全体で共通理解を図りました。また、道教委が作成した「サポート問題」を配付し復習に取り組んでいます。

ほっかいどう「チャレンジテスト」の一部の問題は、道教委ホームページからもダウンロードすることができます。家庭学習にも活用いただけます。

- 「チャレンジテスト」で検索
 - 下記の URL で検索
- <http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/tesuto.htm>

(文責：主幹教諭 萬宮)

9月の行事

3日(月)	交通安全街頭指導④ 鑑賞教室(3・4校時)
4日(火)	クラブ⑨(3年生見学)
5日(水)	学校諸費引落日 特別日課5時間 交流給食
7日(金)	朝会(プール納め) 全校音楽② 避難訓練
11日(火)	学習発表会特別時間割開始 委員会⑧
13日(木)	全校参観日 ガラス拭き(5・6年生) PTA秋の環境整備
14日(金)	読み聞かせ
17日(月)	敬老の日(祝日)
18日(火)	朝会(学習発表会テーマ発表)
20日(木)	学習発表会係活動①
21日(金)	ミュージカル鑑賞 「松浦武四郎」(5年生)
23日(日)	秋分の日
24日(月)	振替休日
25日(火)	学習発表会係活動②
26日(水)	学習発表会児童公開日 弁当持参日
28日(金)	朝会 学習発表会前々日準備
30日(日)	学習発表会

